

# 事務局だより

平成 24 年 3 月 15 日  
第 3 号  
岩手県学校保健会  
養護教諭部会事務局発行

年度末を控え、会員の皆様にはいつにも増して多忙な日々をお過ごしと思います。  
この 1 年間、本当にお疲れ様でした。さて、2 月 24 日、全国養護教諭連絡協議会  
第 17 回研究協議会が開催され、本部会から 3 名参加致しました。その概要をお伝え致します。



## 1 全国養護教諭連絡協議会会長 堀田 美枝子 氏のあいさつより

本会も設立 20 周年の節目の年を迎えることができた。改めて目的の「相互に連絡・連携を図り、養護教諭の職務等について研究し、養護教諭の資質を高め、学校保健の向上に寄与する」の重みを感じている。

## 2 特別講演「今、子どもたちに伝えたいこと」

NHK 解説委員(週刊こどもニュース 2 代目お父さん)鎌田 靖 氏

阪神大震災での取材経験を生かして、3・11 大震災を丁寧に報道した講演だった。この震災で、両親と姉を亡くし、一人になり祖父母の元で生活をしている子どもの様子を TV の映像を交えて話された。今回の震災遺児は 1,500 人ほどになり、阪神大震災の 3 倍ほどにあたるという。これから大人が考えることは、「関係性の再構築、しくみづくり」であるという。私達メディアの役割は、どういう社会にしていけばよいのかを考えるための情報を提供することであると話された。

## 3 基調講演「健康教育の推進と養護教諭の役割」

文科省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官 岩崎 信子氏

学校保健法の一部改正が行われ、平成 21 年 4 月 1 日の施行後 2 年を経過するところだが、改めて改正の法的根拠について述べられた。特に、健康相談と保健指導を重点に話された。毎朝の健康観察こそ、児童理解の基本であると考え。受身的な観察だけでなく、児童自身が自他の健康に興味、関心を持ち、自己(健康)管理能力の育成を図れるようにしていく必要があると感じた。

## 4 フォーラム 全養連初代会長中村道子氏より

「全養連設立 20 周年という節目を迎え、このフォーラムではこれまでのあゆみをふまえて教育職員である養護教諭が子どもの心身の健康を守り育てる専門職として、時代の変化にどのように対応しているか、しようとしているか、について考えてみたい。」というお話をいただいた。その後、養護教諭 3 人より日々の実践が発表された。その中で、主幹養護教諭についてフロアーからの質問意見が多かった。現在、全国では東京、横浜、兵庫に主幹がおかれている。役職名がついて学校運営に積極的に参与できるという意見や、役職名がなくても運営に関われる人間関係が大事ではないかという意見も出た。とても活発な意見交流であった。(文責:上長山小学校 千葉あけみ 研究部副部長)

なお、前述のフォーラム意見交流の場、並びに、全国養護教諭連絡協議会設立 20 周年祝賀会の席上において、部会福士会長より、全国から寄せられた被災支援に対する謝辞を述べて参りました。

【お知らせ】 様々な研修会・研究大会が企画されておりますので日程をお知らせ致します。

- 全国養護教諭連絡協議会第 15 回研修会 平成 24 年 8 月 2~4 日(木~土) 於 東京都
- 平成 24 年度 全国養護教諭研究大会 平成 24 年 8 月 9・10 日(木・金) 於 山形県
- 平成 24 年度東北学校保健大会 平成 24 年 8 月 9・10 日(木・金) 於 青森県

【お詫び(誤字訂正)】

研究集録(第 35 号) 91・93 頁 講師菊池広親氏のお名前に誤りがございました。この紙面にて、お詫びと訂正をさせていただきます。 誤) 菊池博親氏 → 正) 菊池広親氏